

【クロスカルチャー出版ニュース】2017.6.26 号

2017年6月25日(土)

『新潟日報』文化欄に加藤孝男・太田昌孝共著『詩人 西脇順三郎 その生涯と作品』が紹介されました。

17 文 化

2017年(平成29年)6月24日(土曜日)

(日刊)

新 潟 日 報

文化

Niigata Review

ニイガタレビュー

西脇順三郎の生涯 一冊に 本紙連載作を出版

西脇順三郎(1894~1982年)の研究者、加藤孝男さんと太田昌孝さんが「聖地をたずねて」のタイトルで本紙文化面に連載した3部作が、クロスカルチャー出版から「詩人 西脇順三郎 その生涯と作品」=写真=の書名で出版された。

西脇は小千谷市出身で、文化功労者。1950~60年代に何度も

ノーベル文学賞候補となるなど国際的にも高く評価されている詩人だ。

本紙連載は、2014年6月に第1部が始まり、15年10月に第3部が終了。故郷の小千谷での少年、青年時代を追った第1部が第1



章、英国留学時代の足跡をたどった第2部が第2章、帰国後から最晩年までをまとめた第3部が第3章として収録されている。連載に使われた写真も掲載されている。

このほか「西脇順三郎の詩の魅力をあじわう」と題した第4章、略年譜などを新たに加え、西脇の生涯や作品鑑賞の手引書としても使えるような構成となっている。

A5判168頁。1944円。

また、近々書評欄には新潟の一冊として本格的な書評も掲載される予定です。